

10/28 朝日

安倍政権の布マスク 8300万枚眠る

115億円分 倉庫保管に6億円

新型コロナウイルス対策として全世帯や福祉施設などに配るために国が調達した布マスクについて、会計検査院が調べたところ、計2億9千万枚のうち3割近い約8300万枚（約15億1千万円相当）が今年

3月末時点では、3月末時点でも倉庫に保管されていたことが27日、関係者への取材でわかった。保管にかかった費用は、昨年8月～今年3月で約6億円に上るという。

国は感染拡大に伴うマスク不足を受け、当時の安倍政権は、福祉施設や妊婦向けに介護施設などを3千万枚を調達して配布。「アベノマスク」と呼ばれた。3～9月には介護施設

で配った。購入や配布には計約497億円がかかった。会計検査院がこれらの布マスクを調べたところ、アベノマスク約400万枚と、福祉施設や妊婦向けの約7900万枚の計約8300万枚が配られていた。3～9月には介護施設

に公表予定の20年度決算年度の委託先は日本通運で厚生労働省は「今年度も数億円かかる」としている。また検査院は布マスクの衛生基準も調査。業者向けの仕様書には「カーゼである」と「シワみやせきる」と「シワみやせきなんの飛沫を防ぐ構造である」となどの簡潔な記載しかなく、検査院は「業界の衛生基準を適用するなどして品質基準を明確に定めるべきだ」と指摘する方針だ。

磯崎仁彦官房副長官は27日の記者会見で、布マスクの保管状況や費用について、「おおむね事実」と認めたうえで、「調達等について特に問題があったと考えていない」と述べた。厚生労働省は「保管費はかかるが、税金で貢献したので簡単に捨てられない。有効活用を考える」としている。（後藤透）

検査院は、調査結果を11月に公表予定の20年度決算報告書に盛り込む方針だが、会計検査院法に基づいて是正などを求めることはない見送る見通し。